

(様式6)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成20年8月19日

【評価実施概要】

事業所番号	2873100651		
法人名	(株)日本福祉総合企画		
事業所名	ハートケア川西		
所在地	川西市多田院2丁目16番1号 (電話)072-790-1241		
評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号		
訪問調査日	平成20年7月17日	評価確定日	平成20年8月28日

【情報提供票より】 20年 6月 25日事業所記入

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 7 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	25 人	常勤 10人, 非常勤 15人, 常勤換算	13.3人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2階建ての全 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷 金	(有(500,000 円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 500 円
	夕食	500 円	おやつ 200 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (6月 25日現在)

利用者人数	27 名	男性	4 名	女性	23 名
要介護1	2	要介護2	5		
要介護3	12	要介護4	4		
要介護5	4	要支援2			
年齢	平均 85 歳	最低	71 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	くさかベクリニック ふれあい歯科診療所 甲南デンタルクリニック
---------	---------------------------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>入居者のほとんどは地域の出身者ではないが、自然に囲まれたのどかな環境の中で少しずつ地域との交流の機会を増やしなが、静かな暮らしが送られるように支援している。医療的な関わりの大きい利用者についても、安心した生活が継続できるように職員との協力体制を組んで取り組んでいる。</p>
--

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)</p> <p>前回の外部評価の改善点については、現在も取り組みを継続している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)</p> <p>今回の自己評価は、ホーム長が日々のミーティングの話し合いの中や日誌の内容などから拾い上げて完成させた。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)</p> <p>1回目は昨年1月に開催をしたが、運営推進会議を行う意味が理解できない為、それ以後は実施していない。今後は勉強会として地域住民に向けて認知症の理解を深めていけるような活動を行っていく様考えている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)</p> <p>家族面会時に、ホーム長や担当者で相談できるよう取り組んでいる。昨年は、ユニットごとに家族に来ていただき、それぞれの近況とユニット全体の現状等を説明する会をもち、家族からの意見を聞く機会となった。家族からの意見はすぐにミーティングをおこない反映できるようにしている。ホーム便りは職員の異動や行事等での入居者の写真を掲載して2ヶ月に1回作成、ユニット毎には担当者が家族レターとして日々の生活や様子を書いて年6回作成し、定期的に家族に送付している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)</p> <p>自治会が主催している2ヶ月に1回開催の「ふれあい喫茶」への参加を継続している。昨年秋にはホーム主催の開設5周年の感謝祭に地域の自治会・老人会・子供会を招き地元の人々と交流を深めることができています。</p>

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ほとんどの入居者がこの地域の出身者ではないため、地域交流の難しさがあり理念の中に地域との関係性を盛り込めない点があるが、以前の環境に近い状態で家庭的な雰囲気での人らしく暮らしていけるように支援している。理念はパンフレットに明示し家族にも入居時に説明し理解を得ている。		制度改正により地域との交流の下でに改められ、地域との関係性が重視されることから、これまでの理念に加えて、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容となっていることが求められる。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	常勤者・パート職員が出席するユニットミーティングや全体ミーティングの際に施設長が理念について話し職員と共有できる様取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会が主催している2ヶ月に1回開催の「ふれあい喫茶」への参加を継続している。昨年秋にはホーム主催の開設5周年の感謝祭に地域の自治会・老人会・子供会を招き地元の人々と交流を深めることができている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は、ホーム長が日々のミーティングの話し合いの中や日誌の内容などから拾い上げて完成させた。前回の外部評価の改善点については、現在も取り組みを継続している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>1回目は昨年1月に開催をしたが、運営推進会議を行う意味が理解できない為、それ以後は実施していない。今後は勉強会として地域住民に向けて認知症の理解を深めていけるような活動を行っていく様考えている。</p>		<p>地域に根ざしたグループホームとして、地域との交流促進のためにも今後は定期的に開催されるよう取り組みを期待する。</p>
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の介護保険課の担当者とは、グループホームの運営上の疑問点や事故の報告・情報交換などで連携を図っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>ホーム便りは職員の異動や行事等での入居者の写真を掲載して2ヶ月に1回作成、ユニット毎には担当者が家族レターとして日々の生活や様子を書いて年6回作成し、定期的に家族に送付している。家族の面会時にも入居者の近況を積極的に伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族面会時に、ホーム長や担当者と相談できるよう取り組んでいる。昨年は、ユニットごとに家族に来ていただき、それぞれの近況とユニット全体の現状等を説明する会をもち、家族からの意見を聞く機会となった。家族からの意見はすぐにミーティングをおこない反映できるようにしている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>勤務体制は、担当のユニットを決めているが、職員の希望もあり、施設全体としてユニットのローテーションを組んだ勤務体制として、離職による影響を少しでも軽減できるように取り組んでいる。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じた育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修などへの参加については、勤務体制や人員配置などの点から参加が難しい状況があり、実施にいたっていないが、昨年は内部研修として「薬について」や「口腔ケアについて」の勉強会を行った。</p>		<p>職員育成による施設の質向上を図る上において、段階に応じた研修計画と系統立てた研修プログラムの作成への取り組みを期待する。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市内の4グループホームが集まったの交流の機会はないが、他の施設からの相談や研修などの際に情報交換をする機会を持っている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前にユニット担当者が本人・家族と面談し、本人の生活暦や生活リズムを伺い自分らしく張り合いのある生活ができ、安心してサービスが受けられるように、家族との連携を密に行うよう職員全員が取り組んでいる。体験入居もあり馴染める工夫をしている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	入所前のアセスメントを基に利用者の出来ることや能力に応じた役割を見出したり、日常の暮らしの中から、利用者にあった関心ごとを引き出し、洗濯の干し方や花の名前等を教えてもらったり、掃除や洗濯をともにしながら支えあう良い関係を築いている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや希望に添えるように努力している。自分の思いを表せない方も多いが、日々の関わりを記録に残し、カンファレンスなどで検討している。		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の状況や家族の意向を聞き、その情報をもとにミーティング・カンファレンス等で検討し個々のニーズに沿った介護計画をユニットの責任者が作成している。計画に沿ったケアの実施はチーム全体で取り組んでいる。作成された計画は家族に説明し同意をもらっている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	1ヶ月に1回のモニタリングと6ヶ月に1回の介護計画の見直しを行っている。状況の悪化など変化があった場合は速やかにプラン変更ができるようにミーティング・カンファレンスなどで話し合っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制加算をとり、胃ろう増設した利用者の安定した生活が継続できるよう支援を行っている。又、通院介助についても職員が対応を行い家族の負担を軽減すると共に速やかに受診できるよう配慮している。		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎週1回内科の往診医による利用者の健康状態の把握があり、毎週金曜には歯科医の往診も行っている。日々の生活の中で、少しの変化にも気づき、協力医や看護師との連携とりながら、入居者や家族への相談や対応ができるよう支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針を作成し施設としての考えを説明し、入所時に同意を得ている。家族・主治医・職員と話し合いを重ね重度化した場合やターミナルに向けての方針を共有している。又、施設の対応については個別に何回も話し合う機会を設けている		施設としての方針・対応について全職員が共有し、統一した考えで自信を持って取り組んでいけるように、常に話し合いの機会を持ち、また重度化や終末期ケアについての勉強会を持つような取り組みを期待する。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>日常の記録やホーム便り・写真等は個人名の記載については慎重な対応を心がけている。常に自尊心を傷つけないようにと考えながら、職員は対応している。職員は個人情報の保護に関して誓約書を交わしている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ユニットごとに一応の日課を決めてレクリエーションなどを計画している。ラジオ体操・園芸・絵など本人の得意だった事や興味のある事を把握し、無理のないよう意向に添う支援を行っている。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>通常は調理室で調理し出来上がったものを各ユニットに運んでいるが、月1回は昼食レクリエーションを企画しユニット毎に作るメニューを考え、準備など手伝える利用者に合わせて行い、食事作りへの楽しみが持てるように支援している。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は、介助の必要な方が多く、1日3名で時間を考えて利用者のタイミングを見計らって声かけし行っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は日々の生活の中から利用者一人一人の能力に応じた役割を見つけて、お米研ぎや洗濯物たたみ・洗濯干しなどを支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くの公園に出かけたり敷地内の花壇の前でお茶を飲んだり気分転換を図るようにしている。車を利用したのドライブなども行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	安全面を配慮して玄関やユニットの出入り口には鍵をかけ、階段の前には昇降できないように家具を工夫して置いている。明るく閉塞感などは感じられない。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署への消防計画は提出しているが、実施できていない。避難訓練も職員のみで行う訓練計画はある。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取・水分摂取量は毎回チェックし、栄養状態の確保には、高カロリー食品の補給を行い、又水分は1日量の摂取目標を設定し確保できるように支援している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングや廊下は明るく、不快な音や臭いもなく、環境整備が行われている。玄関には、季節を感じる花があり、入居者の行事の写真や貼り絵等掲示し、温かい雰囲気になるよう配慮している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室のすべての物が、家族の協力のもと入居者の馴染みの物や使い慣れた物を持ち込むように支援し、居心地の良い空間になっている。入居者の状況によっては安全面に配慮し、物品の持込みに対して慎重に対応している居室もある。</p>		

 は、重点項目。